

## 平成30年2月の大雪に関する支援を求める意見書

去る2月4日から断続的な降雪となり、7日には県内で37年ぶりに1mを超える雪が短時間に積り、記録的な大雪となった。

今回の大雪は、国道8号をはじめ各道路や鉄道の不通、物流の停滞などライフラインに著しい影響を与えるとともに、あわら市内全域にわたり、農業用ハウスの多くが修復不可能な歪みで倒壊した。

現在も残雪によって詳細な被害状況が把握できない状況の中、生産に向けた早期の対応が求められており、倒壊した農業用ハウスの撤去費用や新たなハウスの設置のための負担が課題となっている。

また、昨年10月の台風21号や今回の大雪により、各地で幾多の農業施設が被災し、復旧に向けた資材調達や施工業者の確保が追いつかず、現在もなお復興のめどが立たない状況の中、春の作付け時期を向かえて、被災農業者の生産意欲の低下が懸念されている。

については、次の事項について特段の配慮を強く求める。

- 1 被災した農業用ハウスの撤去、処分に係る費用について特段の支援を求める。
- 2 被災した農業用ハウスの再整備に向けた助成措置を求める。
- 3 春の作付けに向けた支援措置の早期決定・実施を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年3月6日

福井県あわら市議会